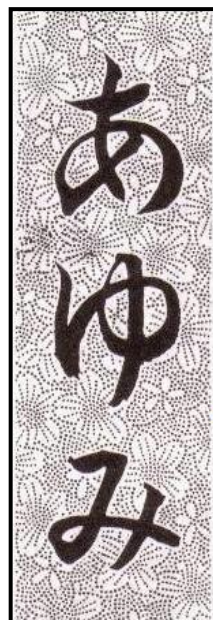


私たちの喜び！来られた主に賛美！



2024年
クリスマス号



発行所
カトリック高幡教会
あゆみ編集委員会
TEL042(592)2463

福音の喜びを 降誕祭から聖年へ！

助任司祭
アシジのフランシスコ 熊坂直樹

主のご降誕、おめでとうございま
す。今年のご降誕祭、サン・ピエトロ
大聖堂において聖なる門が開かれ、
二〇二五年の聖年の幕が開けられま
した。高幡教会で迎える最初の降誕
祭を、その特別な喜びのうちに迎え
られたことを、神に感謝いたします。
この降誕祭、世の救い主がか弱い
赤子になり、両親の保護に命を委ね、
粗末な飼い葉桶に寝かされたことを
思い起こしましょう。すると私たち
は、世界のすべての人に、とりわけ
最も厳しい境遇に置かれていた人々
に、救いが告げ知らされていること
を体験的に知るでしょう。
また私たち信者は、二十五年ごと
に祝われる聖年の中で、罪のゆるし、
特に「免償」という神の恵みを体験
します。聖年は、債務免除、奴隷解

放などが行われた「ヨベルの年」(レ
ビ記25章参照)に由来するもので
すから、小さくされている人々への
神の計らいが、その根底に流れてい
ます。その計らいは、神の独り子が
世に与えられることにおいて極まり
まずの、聖年と降誕祭は分かち難
く結びついているのです。
しかし、真つ先に小さくされてい
る人々に告げ知らされるべき救いの
メッセージは、今一つこの時代の
人々に届いていないようです。先日
あるラジオ番組で、経済的に苦しい
中、シングルマザーとして子育てを
してきた方が、「今でもクリスマスが
トラウマだ」と語っていました。こ
の季節の”幸せなムード”が、その
ご家族には邪魔でしかなかったそう
です。それを聞き、降誕祭の喜びは
誰よりもその人々に向けられている
はずなのに、と心が痛みました。ク
リスマスが不当に商業に利用されて
いるのだとしても、私たちキリスト
者が降誕祭の本当のメッセージを
人々に届けられていないことも、も
う一方の事実でしょう。
ですから、改めてこの降誕祭に、
私たちの信仰を新たにしたいだき
ましょう。この聖年の間、私たちが
キリストの福音の喜びを、同じ時代
を生きる人々に、特に厳しい状況に
置かれた人々に証しすることが出来
ますように。†

教会委員会だより

教会委員会 委員長

今回は主に二〇二四年九月から十二月までの教会委員会だよりを記載します。

【高幡教会のあゆみを振り返る】

「祖父母と高齢者のための世界祈願日」に当たる九月十五日に敬老のお祝いミサを行いました。三十名近くの方々が集ってくださいました。また、ミサ後には希望された方は「病者の塗油」に与りました。

十時ミサ後のパーティーでは、教会学校の子供達も参加して、楽しい懇談が出来ました。そして、有志より、高幡教会の創設時から今日までのスライドショーをしていただき、また、中井さまから高幡教会聖堂の建設時の秘話などもお聞きし、高幡教会の今日までの様々な方々の働き・希望・愛と神さまの大きな恵みを感じるひと時を持つことができました。

【十一月二日死者の日及び三日故人の追悼】

例年のように故人を偲ぶミサを行いました。三日の故人を追悼するミサの中では、祭壇前に故人の写真を安置し、思い出

ある方々の「あり日の場面」を思い出しながらミサの中でお祈りすることができました。また、この文書を執筆している際に、ローマの信徒への手紙6・8「わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます」が浮かびました。

【待降節に入り】

十二月八日は共同回心式です。十二月十五日は黙想会です。黙想会のテーマはシノドスの教会です。シノドス「共に歩む」について、一緒に考えるきっかけになればと思います。

【施設の改善について】

(一) 献金袋と献金棚を新しくしました。一階のコピー機の前にタイムカード用のラックを設置して、献金袋を入れるようにしました。聖堂の二階後方の棚はいずれ撤去して、スツキリさせたいと考えています。
(二) エレベーターホールにエアコンを設置

高幡教会は階段の多い教会です。エレベーターを設置して、大分楽になりました。しかしながら、一階のエレベーターホールは梅雨から九月ぐらいまでは、結露で壁や床がぬれて水たまりができます。今までは、神父様と受付の方々にお願ひして、除湿機にたまる水を一日二、三回捨てていただいていた。これでは大変であり、エレベーターホールにエアコンを設置しました。湿度の多い時はエアコンを動かします。また、寒い時は暖房で使っています。

(三) 聖堂の暖房を全て新しくしました。長い期間使っていた聖堂の四台の暖房機

が二台故障し動きません。その他も耐久年数が過ぎていたので四台とも十一月末に交換しました。今年の冬は暖かくミサに与れます。

(四) 裏山の樹木の伐採

メルセス会と光塩幼稚園と高幡教会で、多摩動物園に行く側道に覆いかぶさるようになっている樹木と高幡教会の裏山の樹木、並びに光塩幼稚園までの坂道にかぶさっている樹木を安全の為にこの冬に伐採します。

【高幡教会の財務状況】

二〇二四年六月九日の財務委員会で「高幡教会の健全な活動の為に財務状況の改善が必要であり、もう少し信徒の皆さんに財務・会計の状況に関心を持っていただくことが肝要」との議論がされました。

財務・会計を担当されている方々及び経験者のご協力をいただき冊子を作成し、十月十三日に配布しました。

目的は「高幡教会の財務・会計の状況に関心を持っていただくこと」と、そして、「皆さんと一緒に今後の高幡教会のことを考える一つの”きっかけ”になれば」との思い出です。

二〇二五年がもう直ぐ始まりです。高幡教会をイエス様から預かり、イエス様と共に歩む、また、信徒の方々、光塩幼稚園やボーイスカウトとも「共に歩む」教会活動が新しい年も行えますように。

希望をもって、交わりの多い教会にしていきたいと思えます。

皆さまのご支援を引き続きよろしくお願ひいたします。

二〇二四年の待降節 黙想会

シノドス(ともに歩む)的教会

待降節第三主日の十二月十五日に熊坂神父様の指導で黙想会が行われました。

「シノドスの教会」のテーマで行われた講和では、「キリスト信者の身分」についてのお話がありました。「キリスト信者は、信徒、聖職者、修道者の三つに分けられ、洗礼の恵みの実りとして、それぞれの身分に応じてキリストの三職に参与する」と説明され、「キリストの三職とは、神の民として神を礼拝する祭司職、神の聖心を告げ知らせる預言職、天地万物を治めるキリストの業に協力する王職」があり、「信者は、ミサや他の秘跡などをおして神を礼拝することで祭司職に参与、信仰生活と生活の一致、言葉や生活の証しとして預言職に参与、世を神が王として治める国のあるべき姿に近づけることに奉仕することで王職に参与する」と話されました。

続いて、「コリントの信徒への手紙①12章27節〜13章13節」と「リジュアの聖アレジア」の説明がありました。聖アレジアは12章に挙げられたリストに自分の召命を見出さなかったため、13章まで読み進めて、自分の召命を見出しませんでした。「私は悟ったのです。愛は、ありとあらゆる召し出しをふくみ、愛はすべてであり、愛はあらゆる世代、あらゆる場所を包

含する。ひとことというならば、愛は永遠である。私の天職、それは愛です」

熊坂神父様は、午前の部を以下のようにまとめられました。「洗礼の恵みに生かされている信者一人ひとりが、キリストへの愛、キリストの神秘体である教会への愛に基づいて、それぞれの身分に基づく生き方によって、福音を証しすることが肝要(司祭、信徒、修道者が、それぞれの在り方で、キリストと教会への愛に生き、ともに歩む)。頭であるキリストは、それぞれの奉仕を一つに集め、教会をおしてご自身の救いの業を継続してください」

お昼の休憩時間を挟んで続けて午後この部が行われました。

午後この部では、教会の位階制とシノドスの教会の姿について説明がありました。かつての聖職者中心の教会観は、初代教会という源泉に回帰した第二バチカン公会議によって、聖職者が権限を持つて教会を治めることに変わりはないが、洗礼により神の子とされた信者同士が、一人ひとりに働く聖霊に信頼し、身分の違いを越えて互いに耳を傾け、共に歩む教会観へと刷新されたことと説明されました。また教皇フランシスコは、第二バチカン公会議が刷新した教会観を、現実の教会に反映させようと信者を招いているとのこと。続けて、キリストに呼び集められて「共に歩む教会」の姿を示す聖書の言葉を紹介されて、午後の部を以下のようにまとめられました。「わたしがあなただがたを愛したように互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。」ヨハネ福音書15章12節

教会学校消息



夏キャンプ感想文

八月七日から二日間、夕やけ小やけふれあいの里で行われた教会学校の夏キャンプの感想文が届きましたので掲載いたします。

● 八月七日(水)

◆ I・S(小5)

今日、大自然の川の中であそんだ。ゴールを付けて、もぐったら魚がいたよ。よく見ていたら、二十センチぐらいの魚がいて、とても面白かったです。

◆ I・M子(小3)

今日、川あそびと動物園が楽しかったです。川あそびは、水でつぼうであそびました。川の水はつめたたくて気持ちよかったです。動物園ではうさぎにえさをあげました。モルモットをだっこしたら、ちよつとくすぐったかったです。うまや、やぎもいました。すごく楽しかったです。

◆ S・H(小3)

今日はみんなでたくさんすることをして遊びました。中でもとくに楽しかったのは水遊びでした。とてもジャバジャバして遊びました。とつても楽しかったです。またあとで花火もやるのでそれも楽しみです。

◆ S・A(小5)
今日は水遊びをしました。下流の方で遊びました。とても深い所もありました。つめたくて、気持ち良かったです。

ロザリオを作りました。きれいなガラスみたいなビーズを使いました。青系の色でそろえると、きれいにできました。

◆ H・H(小3)

川遊びが楽しかったです。人に水をかけあうのがおもしろかったです。

◆ H・Y(小1)

すいかわりではじめてすいかをあてました。とてもたのしかったです。

◆ H・M(中1)

今日もたくさんのお話を聞いて遊びました。その中でも水遊びとロザリオ作りが楽しかったです。水遊びはお兄さんやお姉さんも一緒に遊んでくれて、とても楽しかったです。ロザリオ作りは、みんなでしこうさくごしながらがんばって作りあげました。どちらの遊びもみんな力を合わせてこそ出来た事です。明日も楽しみたいです。

◆ M・S(小3)

今日は、川で水遊びをして、すごくたのしかったです！でもさむかった！くるまで一時間かけてここにきました。すいかわりをしてちよつとてました。

◆ M・M(小5)

ぼくは、川遊びが楽しかったです。川の中につかたり、もぐったりしてたのしかったです。スイカわりはうまくできなかつたけどスイカがおいしかったです。

● 八月八日(木)

◆ I・S(小5)

今日、きょう会で「川でかがやきましたでしょう」をもらいました。とてもうれしかったです。

◆ I・M(小3)

今日、今朝、おさんぽに行きました。と中、カマキリやカニがいました。かえりに川のところにあるはしをわたりました。けっこうゆれてこわかったです。

◆ S・H(小3)

今日は、みんなでおさんぽに行きました。



川や、池や、自ぜんを楽しみながら、歩きました。今日はキャンプのさいしゅうびなので、とっても楽しかったです。

◆ S・A(小5)

朝さんぽをしました。さりちゃんにかりたカメラでたくさんしゃんをとりました。沢ガニもいました。すずしかったです。朝食はビュッフェでした。好きなものだけ食べました。おいしかったです。朝は一番におきました。なので、みんなをおこしました。

◆ H・Y(小3)

今朝のさんぽでカニを見つけました。見つけてうれしかったです。

◆ H・Y(小1)

あさのさんぽでかにをみつけました。とてもちいさかったです。

◆ H・M(中1)

今日は朝早く起きて、早くから朝ごはんを食べました。私はあまり一人で朝早く食べられないけれど、こういうお泊まりの日には早く起きます。早く起きると少しすっきりしました。でも、今回の教会学校のキャンプで小学生あつかいしてもらるのは最後なので、さみしい気持ち山々です。でも、来年の教会学校のキャンプではおねえさんとしてがんばります。

◆ M・S(小3)

散歩にいったとき、みずきがかにをみつけ、すごかった！ラジオたいそうしました。みんなにおんぶしてもらいました。

◆ M・M(小5)

ぼくは、朝のおさんぽが楽しくてすずしかったです。生のカニをはじめてみたのですごく良かったです。